

令和5（2023）年度 わかば福祉会 事業報告書

新型コロナウイルス感染症の5類に移行し、手洗いは出来ましたが、マスク着用は世間の安心感により園児は殆ど着用できず、残念ながらインフルエンザ等の感染が多く発生しました。

行事等は、園児だけの行事も保護者参観の行事も慎重に感染防止をしながら実施し、顕著な感染がなく一つ一つ通常の行事に段々と近づけられました。

利用定員110名の園児の保育をしました。保育内容は、野外の運動場と野原・畑を手入れして室内外の実体験の保育により、園児の「生きる力」とその基になる「主体性」が成長できる様に意識化して保育をし、当園の「園児の保育目標」の達成と共に、担任を始め職員が積極的に保育をし、年度当初より、園児の主体性が成長出来、良い保育・良い子のプラススパイラルが少しずつ進展する年でした。これらの保育を進める職員は当法人の「職務規範」の品性・主体性・協力の和の心によりこれを支え、在職職員の指導により新任職員も職務規範を守り、在職職員と共に保育の向上に努められました。

配慮の必要な乳幼児は増加しており、専門機関と連携するのは保護者だけに限られ、園は直接連携をとれない為、保護者に専門機関と連携する様に働きかけました。しかし、日野市の専門機関の多忙と保護者の都合により、専門機関の治療・訓練等までには至りませんでした。また、障害児担当保育者の採用にも努力しましたが、全行的な保育士不足もあり採用には至りませんでした。

また、「安全計画」は訓練に反映され、「事業継続計画」は完成には至りませんでした。福祉の継続性を確保するために小法人なりに非常事態に対応できる様にOJTを行いました。

各職員が成長し協力し合う山脈型の組織体制は、主任・主任補佐が中間管理職として実務範囲が広がって来ました。

建物・設備は改築時に意識的に自然換気の良い設計と致しましたが、コロナを拡大させない為に、令和4年度でさらに換気増加・空調の改善し、今年度には保育園棟2階のエアコンを東京都の補助金で更新し、園児を常時見守り保育の向上をする為に日野市の補助金を頂き見守りカメラを設置し、ホール1階部の第一ホールを整理整頓して棚の設置・幕の設置を行いホールとして活用できるようにしました。

以上